

第3次健康おおだて21の策定にあたって



わが国は、世界有数の長寿国となりましたが、その一方で、少子高齢化や人口減少の進展により私たちを取り巻く社会環境や生活様式は大きく変化し、さらに疾病構造では、生活習慣病の重症化、新たな感染症の出現など様々な健康課題が生じております。

本市においても、高齢化率は増加しており、令和2年の国勢調査では39.3%と県平均より高く、令和32年には50%を超えることが予想されています。このような背景においても生涯にわたって健やかで心豊かに生活するためには、日常生活動作が自立している期間である「健康寿命」を延伸する取組が重要となります。

本市では、平成16年3月に「健康おおだて21」を、平成26年には第2次計画を策定し、健康寿命の延伸を目指して市民とともに健康づくりに取り組んでまいりました。第2次計画が最終年度を迎えるにあたり、取組結果を評価すると共に、社会環境の変化や今後の健康課題を踏まえて、令和6年度から令和17年度までの12年間を計画期間とした「第3次健康おおだて21」を策定しました。

本計画は、「延ばそう健康寿命 みんなでつくる健康なまち おおだて」をスローガンに、個人の健康づくりの取組みだけでなく、市民が自然に健康になれる環境づくりやICT技術の活用など基盤の整備、社会とのつながりといった社会環境の質が向上することで、個人の行動と健康状態の改善を促し、より多くのかたが効果的な健康づくりの取組みを実践できることを目指します。さらに、胎生期から高齢期に至るまで人の一生を通し継続した対策を講じる「ライフコースアプローチ」を踏まえた健康づくりを推進することで、誰一人取り残さない、より実効性を持つ健康づくりの取組みを推進してまいります。

社会や個人の健康課題が多様化する中で、本市の健康づくりを推進するためには、市民の皆さまの主体的な取り組みはもとより、地域や企業、関係団体、学校など多様な主体との連携・協働が大切です。本計画に掲げた目標の達成に向けて、市民の皆さまの一層のご理解とご協力をお願いします。

最後に本計画の策定にあたり貴重なご意見、ご提言をいただいた「第3次健康おおだて21」計画策定委員の皆さまをはじめ、アンケート調査やパブリックコメントにご協力いただきました市民の皆さまに心から感謝申し上げます。

令和6年3月

大館市長

福原 淳嗣